

## 西條正幸の エコライフのすすめ



### 「オーガニックコットン」

アメリカで使用される農薬の10%が綿の栽培に使われ、環境面でも大きな問題になっている。対して、無農薬・有機栽培で育てられた綿=オーガニックコットンは、収穫後も脱脂・織り上げ・洗浄・染色など製造過程でも細心の注意が払われる。手間隙かけて出来上がったオーガニックコットンは、ソフトな肌触りと風合で気持ちが良いばかりか、何度洗ってもフワフワ感があり意外に長持ちする超おすすめ品。僕愛用の「パタゴニア」は、全ての綿製品をオーガニックコットンで製造していて、アウトドア派にはお馴染みの自然派ウエアメーカーだ。

可愛いロゴマークがポイントの「メイドインアース」は、肌着とベビウエアの定番品で、出産祝いやプレゼントには欠かせない存在になっている。衣料のほかにリネン類やベビー布団などがあり、アトピーが心配な赤ちゃんには良いと思う。ロゴマークのプリントカラーには天然素材を使用、土の顔料とトウモロコシ・抹茶・炭・カイガラムシの色素などを利用し、オーガニックコットン本来の素地をそのまま生かしたプレーンなつくりだ。

さらに忘れてはいけないのが、洗濯の際、せっかくの素材を合成洗剤で洗ってしまったら意味がないということ。メイドインアースでは、オーガニックコットンに優しい植物性の石鹼が用意されているところが嬉しい。

一級建築士事務所  
自然素材で新築・リフォーム  
エコロジー建築工房

有限会社 西條インテリアデザイン

<http://www.saijo-d.com>

本社 / 札幌市北区百合が原4丁目8の1 (百合が原公園向かい)  
TEL 011-774-8599 E-mail:eco@saijo-d.com  
伊達支店 / 伊達市舟岡町50-28  
TEL 0142-22-0138 E-mail:bau@saijo-d.com



### 新月の木の不思議

木の不思議な力を感じることは多いが、中でも新月伐採木には魅力が

感じる。冬の新月の時期に伐採された木は、カビ・害虫・腐食に強い上に割れや狂いも少ないという。満月よりも新月のほうが木の細胞内の水分が少なくなることがわかっているが、科学的に解明されているわけではない。

オーストリア発のこの方法は、薬剤を使わずに済むためシックハウス対策にもなる。伐倒した木は、枝葉をつけたまま谷側に放置する「木枯らし乾燥」により、ストレスの少ない状態で天然乾燥できる。フローリングや建具などに用いると、痩せた反ったりがなく、狂いを起こさない、まさに良材。日本を代表する木造建築の法隆寺やバイオリンの名器ストラディバリウスは、この新月の木でつくられているらしい。

山と住み手の距離が近くなることで、僕たちも新月の木で建てた家を手に入れることができるようになる。



抗菌性・酸化防止性・消臭性など、木にはさまざまな自然の効果がある。その精油成分は、葉に含まれる葉油と幹に含まれる材油で多少違うが、森林浴効果フィトンチットの源。一般的に広葉樹より針葉樹に、幹より葉に多く含まれる。最近注目の森林浴による森林療法(森林セラピー)は、フィトンチットのリラック

クス効果によるものだ。

トドマツは、国産材の中でも群を抜いて精油成分を含有する木だ。他の針葉樹と比較すると、ヒノキの2倍、ヒバの3倍、輸入材のトウヒ(ホワイトウッド)の8倍。その精油成分は喘息の発作を防ぐ、動脈硬化を防ぐ、殺菌効果がある、ジフテリア、百日咳に効くなどといわれる。ならば喘息の人がトドマツの香りを感ずる住まいで暮らすと、喘息の症状が緩和されるのだろうか? 確かに喘息の人が、新しい木の家に移ってから体調が良くなったという話を聞くこともある。ただ、精油の揮発成分は万人に良いわけではないと思うし、わからないことがまだまだたくさんある。しかし、さまざまな木の成分や性質は人の健康に良い効果があり、木の良さを生かした家が健康な住まいのために必要なことは間違いない。



### エコショップ 素材自店

札幌市北区百合が原4丁目8-1  
(JR学園都市線「百合が原」駅 徒歩5分)  
TEL 011-774-8599 FAX 011-774-8581  
<営業時間> AM10:00 ~ PM6:00  
祝・日曜休み

オーガニック空間を実現するための、厳選エコ素材ショップ。西條インテリアデザイン併設。素材の購入だけでも良いですが、新築、リフォーム相談の場合はご予約ください。

# ecology 新 素材自店 30

木の家は住む人に、健康と快適性でさまざまな良い効果を発揮します。  
マウスを箱に入れて飼育した環境実験では、コンクリートや金属より木の箱のほうが生存率が高く、住まいの素材として木が最適であることが証明されています。

## 木の家にこだわりたい



### 木の循環システム

木材が持続可能なエコロジー建材の代表である最大の理由は、二酸化炭素を吸収し酸素を供給する空気の循環システムが、地球上の生物には不可欠だからだ。このシステムの持続のためにはもっと木を使うこと、そして森林を維持管理し、再生させる循環サイクルを守ることが大切だ。

熱帯雨林などの森林伐採や乱開発は、たった1年で日本の面積の約半分の自然林を消滅させる。地球の裏側の森林を僕たちが目にすることはむずかしいかも知れないが、もっと身近な山に気を配ることはできるはずだ。

地材地消の運動は、地場資源をもっと使い、地域を活性化させることが第一の目的だが、使うだけでは持続はできない。そこで森林をしっかりと管理して豊かな森づくりのための仕組みをつくり、その恵みを無駄なく使うためのネットワークを広げる必要がある。

### FSC 認証材

農産物に有機認証制度があるように、木製品にも認証制度がある。1990年から始まったFSC森林認証は木材認証制度(ラベリング制度)とも呼ばれ、世界60カ国以上、日本でも30カ所近くの森林が、第三者機関から森林管理を一定の基準に照らして評価認証されている。この木を使った製品には、健全な森づくりから生まれた証明としてFSCマークが記され、消費者が商品を選択することで森林保護を手助けできる仕組みになっている。

北海道にも唯一このFSC認証を受けた森林がある。上川郡下川町の下川小流域管理システム推進協議会。町ぐるみで取り組む森林のまちプロジェクトだ。カラマツ・トドマツの人工林から生まれる製品は、建築・土木製材品・集成材・箸・木炭・エッセンシャルオイル製品など。しかし残念なことに、日本ではFSC認証の認知度があまりに低く、その木材は他と区別されず貯木さ



西條正幸  
Masayuki Saijo

エコロジー空間デザイナー。  
人と環境にやさしいエコロジー建築をテーマに店舗、住宅の新築、リフォームの設計・施工、エコロジー建材のコーディネートなどに応じている。一級建築士事務所(有)西條インテリアデザイン代表取締役。エコショップ「素材自店」店主。